

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 ドクターヘリ共同運航経費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,044 千円 (前年度予算額： 7,092 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,092	0	0	0	0	0	0	0	7,092
要求額	8,044	0	0	0	0	0	0	0	8,044
決定額	8,044	0	0	0	0	0	0	0	8,044

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県ドクターヘリ基地病院 (岐阜大学医学部附属病院) から遠方にある飛騨地域及び郡上市の救急医療提供体制を強化するため、富山県とは平成27年7月10日に、福井県とは令和4年10月21日に共同運航事業及び相互応援運航に係る協定を締結した。

(2) 事業内容

富山県ドクターヘリ及び福井県ドクターヘリを、岐阜県でも活用することで、岐阜県ドクターヘリの活動を補足、バックアップし、もって岐阜県の救急医療体制のさらなる強化を図るため、共同運航及び相互応援運航に必要となる経費を負担する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・富山県との共同事業とし、岐阜県が事業に要する経費の一部を負担する。（出勤実績に応じて負担することを、実施細目に規定。）
- ・福井県との相互応援運航とし、福井県から岐阜県への運航に対し岐阜県が事業に要する経費の一部を負担する。反対に、岐阜県から福井県への運航に対しては、福井県が事業に要する経費の一部を負担する。（出勤実績に応じて負担することを、実施細目に規定。）

(4) 類似事業の有無

類似事業なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	8,044	富山県及び福井県ドクターヘリの共同運航及び相互応援運航に係る負担金
合計	8,044	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画

第3部-第2章-第6節救急医療対策-7今後の施策

『岐阜県ドクターヘリの基地病院（岐阜大学医学部附属病院）から離れた飛騨地域北部（高山市、飛騨市及び白川村）における救急医療提供体制を確保するため、富山県ドクターヘリの共同運航を推進します。』

(2) 国・他県の状況

- ・ドクターヘリ導入状況
導入済：47道府県・56機（R4.4時点）
- ・広域連携の状況（R4.5月現在）
協定締結：40道府県28の協定が締結されている

(3) 後年度の財政負担

- ・運用方法等について富山県及び福井県との検討のみならず両県の運航調整委員会等でも検討しながら、継続実施していく。
- ・費用負担のあり方についても、運用状況に応じ検討し必要に応じて見直しを行っていく。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・富山県が導入するドクターヘリを、共同事業の形で岐阜県でも活用するもの。
- ・福井県、岐阜県が導入するドクターヘリを、相互応援運航の形で双方で活用するもの。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県ドクターヘリが他の事案に出動中のため出動できない「重複要請」等による未出動事案を減少させるなど、岐阜県ドクターヘリの活動を補足、バックアップし、県民への救命救急医療提供体制を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①富山県ドクターヘリの岐阜県への出動件数	0件	25件	40件	40件	40件	63%
②福井県ドクターヘリの岐阜県への出動件数	0件	4件	10件	10件	10件	40%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	平成27年8月24日に開始した富山県ドクターヘリ共同運航を継続。 令和2年度、富山県ドクターヘリの岐阜県への出動件数は23件 指標① 目標：40件 実績：23件 達成率：58%
令和3年度	平成27年8月24日に開始した富山県ドクターヘリ共同運航を継続。 令和3年度、富山県ドクターヘリの岐阜県への出動件数は17件 指標① 目標：40件 実績：17件 達成率：43%
令和4年度	平成27年8月24日に開始した富山県ドクターヘリ共同運航を継続。 令和4年度、富山県ドクターヘリの岐阜県への出動件数は25件 令和4年11月1日より福井県との相互応援運航を開始。 令和4年度の実績は4件 指標① 目標：40件 実績：25件 達成率：63%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>岐阜県ドクターヘリの出動件数は年々増加しており、出動件数の増加に伴い、他の救急事案に出動中に別の出動要請が入る、「重複要請」も増加している。これらをカバーし、一人でも多くの救急患者の生命、健康を守るために必要性の高い事業である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>富山県ドクターヘリが岐阜県へ出動することで、岐阜県ドクターヘリ活動のバックアップし、飛騨地域の救急医療体制強化に寄与している。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>共同運航に係る症例検討会を実施し、ドクターヘリの運航や救急活動について検証と改善を行いながら実施していく予定となっている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 効率的な運航を行うため、関係者間で運航方法等について十分協議し、連携を図っていくことが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 症例検討会等において、運航状況や効果を検証し、内容の改善・充実を図りながら事業を継続実施していく予定。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	